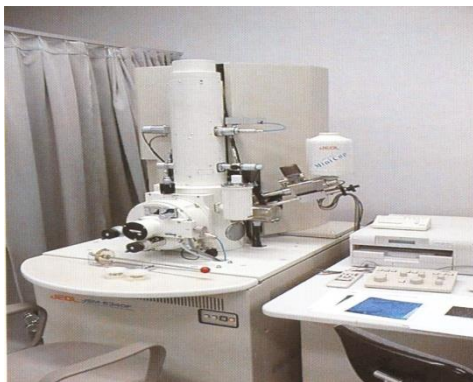




(別添)2019年度 研修対象機器(機器実習)の特徴

2019年度 研修対象機器一覧



①FE-SEM (走査型電子顕微鏡)
日本電子 JSM-6340F



②試料前処理研修 (クロスセクションポリッシャー使用)
日本電子 SM-09020CP



③EPMA (電子プローブマイクロアナライザー装置)
日本電子 JXA-8900RL



④ICP-MS
(誘導結合高周波プラズマ質量分析装置)
アジレント・テクノロジー Agilent7500CX



⑤AES (オージェ電子分光装置)
日本電子 JAMP-7810



⑥FT-NMR (フーリエ変換核磁気共鳴装置)
日本電子 JNM-ECP600

①FE-SEM(電界放出形走査電子顕微鏡)

【特徴】

- 非常に細く絞った電子ビームを試料に照射し対象から放出される二次電子や反射電子等を検出することで対象の表面構造を観察。
- 電界放出形(FE)電子銃を搭載しており、更に高倍率(倍率25倍～およそ5万倍)での観察が可能。

【適用分野】

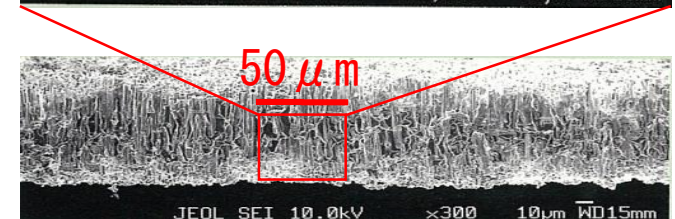
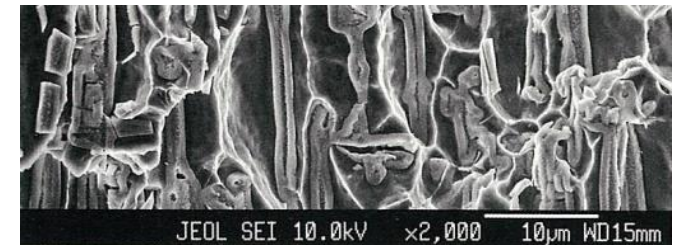
- 金属、セラミックス、繊維、高分子、電子部品、半導体

【適用業務】

- 開発試作品の評価、異物解析等の品質保証評価

【観察事例】

- 酸化アルミ膜



② 試料前処理研修 (クロスセクションポリッシャー使用)

【特徴】クロスセクションポリッシャーは、ブロードなアルゴンイオンビームと機械研磨機を用いた断面試料作製より、ひずみの無い優れた加工仕上げを施す装置。

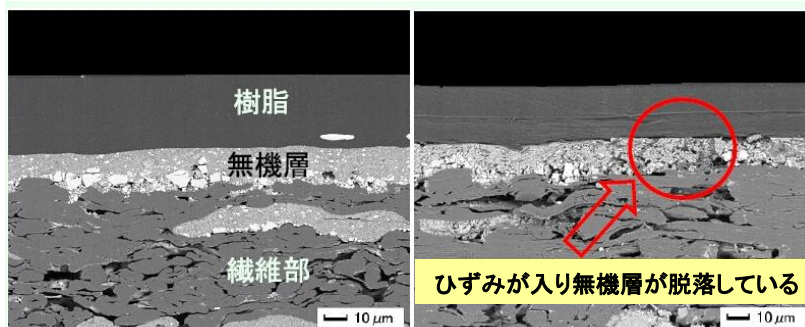
コーティング装置は、SEM/EPMA測定において、非導電性試料に対して、帯電現象を起こさないように、カーボン、金、白金等をコーティングする装置。

【適用業務】

- クロスセクションポリッシャー: SEM/EPMA/AES測定における断面試料作製
- コーティング装置: SEM/EPMA測定における非導電性試料に対する前処理

【加工事例1】ラミネート紙の断面

※クロスセクションポリッシャーとカミソリの断面比較

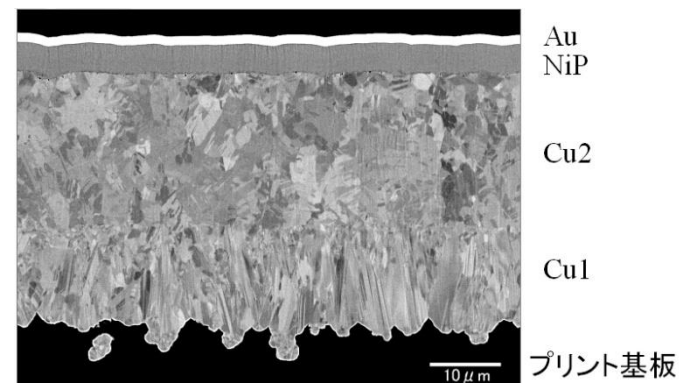


クロスセクションポリッシャーによる断面

カミソリによる断面

【加工事例2】カードエッジコネクタめっき部断面

※クロスセクションポリッシャーによる断面試料作製により、SEM反射電子像で、鮮明な結晶チャネリングコントラストを確認



プリント基板

③EPMA(電子プローブマイクロアナライザー装置)

【特徴】

- 非常に細く集光された電子ビームを試料に照射し、そこから発生する特性X線の波長や強度、二次電子や反射電子の量を測定。
- 試料の構成元素や化合物の濃度、分布状態、形状、平均原子番号などを、ミクロからマクロの領域まで、多面的かつ広範囲に分析可能。

【適用分野】

- 金属、セラミックス、電子部品

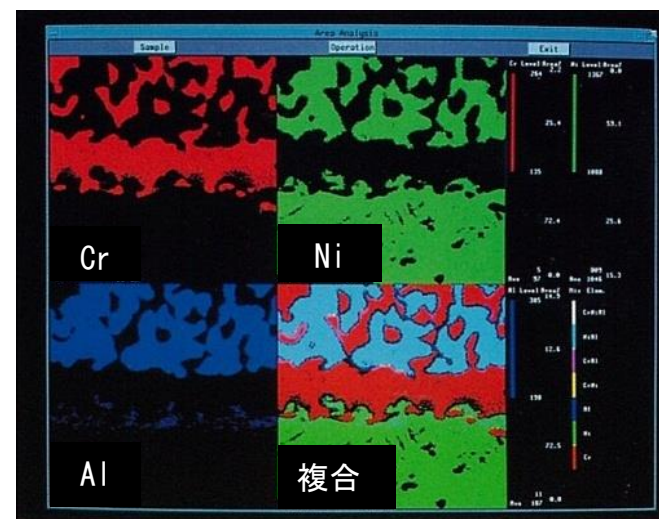
【適用業務】

- 開発試作品の評価、異物解析等の品質保証評価

【観察事例】

- 耐熱合金

※Cr/Ni/Alのミクロ領域分布



10 μ m

④ICP-MS

(誘導結合高周波プラズマ質量分析装置)

【特徴】

- 電氣的に作り出したアルゴンのプラズマ中に試料(液体)を噴霧して、試料に含まれる金属元素をイオン化し、四重極によって生み出される電場を用いて質量分析を行う。

※試料が固体の場合は溶解・分解の前処理が必要

- 金属元素(水素を除く全て)の定量・定性分析が可能
- 高感度($\mu\text{g}/\ell = \text{ppb}$ の測定が可能)
- 同位体比の測定も可能

【適用分野】

- 半導体、環境分析、地質学、化学 など

【適用業務】

- 排水中の有害元素の定量
- 金属製品に含まれる不純物分析
- 樹脂製品の異物同定 など

【分析事例】

- 環境水、飲料水中の金属元素の分析
(Na, Mg, Ca, As, Cd)

サンプル名	23 Na [1] 濃度 [ppm]	24 Mg [1] 濃度 [ppm]	43 Ca [1] 濃度 [ppm]	75 As [1] 濃度 [ppm]	111 Cd [1] 濃度 [ppm]
河川水(上流)	5.578	1.092	4.797	<0.000	0.000
河川水(下流)	5.984	2.488	11.781	0.002	0.000
水道水	9.347	1.471	5.417	<0.000	0.000
井戸水	5.402	4.283	11.411	<0.000	<0.000
ミネラルウォーター	146.364	1.752	1.166	<0.000	<0.000



⑤AES (オージェ電子分光装置)

【特徴】

- 固体試料表面の元素分析を行う装置。
- 細く絞った電子線を照射し、その結果発生するオージェ電子のエネルギーを分析するため、極めて微小な領域の分析が可能。
- オージェ電子スペクトル測定、デプスプロファイル分析による深さ方向の元素分布測定、オージェ電子像による元素分布測定、二次電子像による形態観察等が可能。

【適用分野】

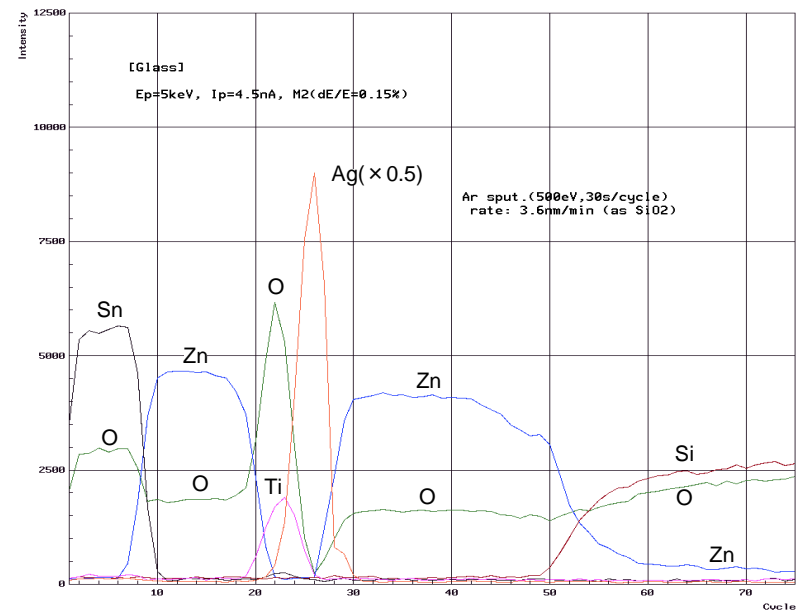
- 金属(特にめっき)、電子部品

【適用業務】

- 開発試作品の評価、異物解析等の品質保証評価

【分析事例】耐熱ガラスの深さ方向分析

※ガラスの積層微小構造分布



(表面) ← → (基板)



⑥FT-NMR(フーリエ変換核磁気共鳴装置)

【特徴】

- 磁場中に置かれた原子核が、外部からの電磁波によって共鳴現象を起こし、固有の電磁波を吸収する性質を利用して、分子中の原子核のわずかな違いを分析する。
- 有機化合物の分子構造解析が可能。
- 水素、炭素の他、リン、フッ素などの測定も可能。
- 重水・重水素化有機溶媒に試料を溶かして測定する。

【適用分野】

- 合成化学、製薬、高分子化学、天然物化学

【適用業務】

- 合成薬品の分子構造確認、天然物由来抽出成分の同定、反応生成物の同定

【観察事例】

□アルコールの¹H-NMRスペクトル

